

議会だより

3月市議会から

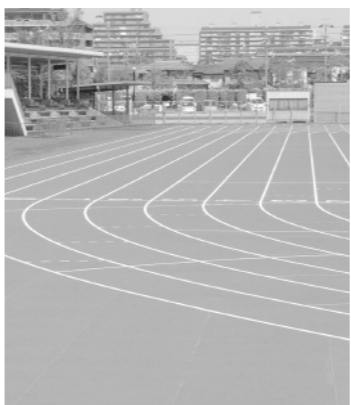
平成23年度当初予算を可決

一般会計、各特別会計、水道事業会計を合わせた全体予算額は、前年度比0.1%減の92億4200万円となりました。
※詳しい内容は、本紙4月1日号をご覧ください。

平成22年度の3月補正予算8億4500万円余を減額

12月補正予算以降、新たに必要となった事業や事業費の確定による調整などで、一般会計では1億2100万円余を増額し、特別会計(水道事業会計を含む)では9億6700万円余を減額しました。歳出の主な内容は次のとおりです。

- ◆一般会計
 - 総務費 3億8300万円余減/職員退職者の確定による退職手当の減額など
 - 民生費 2億9000万円余増/障害者入所・通所支援事業扶助費、子ども医療費助成事業扶助費、児童クラブ建設用地購入費の増額など
 - 衛生費 2億5500万円余増/清掃施設整備基金積立金の増額など
 - 農林水産業費 4600万円余増/県営土地改良事業負担金の増額など
 - 商工費 5200万円余減/環境対応車購入支援事業補助金の減額など
 - 土木費 2億6000万円余



◆国民健康保険事業特別会計
8000万円余増/共同事業拠出金、償還金の増額など

増/南明治第一土地区画整理事業用地購入費、公園整備事業用地購入費の増額など
●教育費 5500万円余減/陸上競技場公認更新工事費の減額、市立学校施設整備基金積立金、小学校トイレ改修工事費の増額など

平成23年第1回安城市議会定例会を3月2日から22日まで開催し、提出された「平成23年度安城市一般会計予算」など46案件を原案どおり可決したほか、報告案2件を報告、同意案2件を同意しました。
3日、4日、7日の代表・一般質問では、13人の議員から都市整備、子育て・教育、市民生活、福祉、行財政など市政の各方面にわたり質問がありました。
本会議の詳しい内容は、6月上旬から市政情報コーナー、中央図書館に設置する「会議録」または市公式ウェブサイトの「市議会のページ」をご覧ください。
なお、代表・一般質問は、同サイト内の「議会映像配信」で公開しています。

問▼議事課(☎712252)

◆下水道事業特別会計

1億400万円余減/汚水管路整備工事費の減額など

◆北部土地区画整理事業特別会計

1億6900万円減/物件移転補償費の減額など

◆桜井駅周辺特定土地区画整理事業特別会計

2億8200万円余減/道路築造等工事費の減額など

◆介護保険事業特別会計

8300万円余減/保険給付費の減額など

任期付職員の採用に関する条例の制定

地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づき、

任期を定めた職員の採用制度を導入するものです。

特別職および教育長の給与の特例に関する条例の制定

厳しい財政状況および市長選挙での公約を踏まえ、給料月額について、市長30%、副市長20%、教育長10%を、平成23年4月1日から平成27年2月14日までの間、それぞれ減額する特例を定めるものです。

なお、当該期間における毎年度の給料月額、市政に関する重要施策を実現するための諸政策の推進状況に照らして見直し、必要があると認めるときは、別に条例で定める額とすることができるとです。

市民参加条例の制定

安城市自治基本条例第14条の規定に基づき、市民参加の手法を用意するとともに、市民参加の基本的な事項を定めることにより、市民参加の推進を図るものです。

設備投資促進条例の制定

新規に取得する一部の償却資産の固定資産税を軽減することにより、中小企業などの設備投資を促

進し、経営の体質強化および地域経済の活性化を図るものです。

TPP交渉への対応に関する意見書を国へ提出

TPP(環太平洋パートナーシップ協定)への参加に対し、わが国の農業振興や食料安全保障をはじめ、経済全体に与える影響を十分考慮し対応するよう、国へ意見書を提出しました。

監査委員の選任

議員から選任されていた石川孝文監査委員の辞職に伴い、土屋修美議員(和泉町・62歳)を選任することに同意しました。

公平委員会委員の選任

5月10日で任期満了となった尾本雅光氏の後任に、引き続き同氏を選任することに同意しました。

請願の審議結果

- TPPへの参加に反対する請願 ↓不採択
- 西三河地区採択協議会の「調査研究報告書」の内容改善を求める意見書の採択を求める請願 ↓不採択

都市整備



代表質問・一般質問のあらまし

■中心市街地拠点施設について

問 旧更生病院跡地に建設される中心市街地拠点施設の具体的な内容、建設スケジュール、工事着手までの暫定利用について伺いたい。

答 更生病院跡地の整備

内容については、昨年度策定した中心市街地拠点整備基本計画をベースに、図書館、多目的スペースなどによる「学び」や「交流促進」の機能をもった生涯学習に親しむ公共施設と、民間活力利用による健康増進・医療サービス、各種店舗を複合した施設を、広場・公園と一体的に整備する計画としていきます。公共と民間が複合する施設になるため、積極的に民間活力を導入





■大規模保育園の解消について
問 定員20人を超えるマンモス保育園の解消に向けた、今後の取り組み方針とスケジュールについて伺いたい。
答 市では現在、待機児童ゼロの継続を当面の目標として取り組んでおり、大規模保育園の解消のために公立保育園を新設することは考えていません。



■名鉄南安城駅のバリアフリー化について

問 名鉄西尾線南安城駅は、1日3000人以上が乗降し、ホームまでは長い階段がある。早急なバリアフリー化が求められるが、市の方針を伺いたい。
答 南安城駅は、橋上駅で改札は中2階にあり、地上とホームへは階段を利用しなければ移動できない構造となっています。
 現在のバリアフリー新法では、1日の乗降客5000人以上の駅について、エレベーターなどの設置が鉄道事業者に義務付けられています。南安城駅は、今のところ対象の駅となっておりませんが、駅舎とホームの構造や用地などにおいて、バリアフリー化に向けての問題があると考えています。
 国は今後、1日の乗降客3000

0人以上の駅まで対象を拡大する方針を固めたと聞いていますので、国の動向を見据えながら鉄道事業者に要請をしていきます。

子育て・教育



■新たな少子化対策について

問 高校生までを対象としたインフルエンザ予防接種補助、第三子以降の保育料・幼稚園授業料の無料化、子ども医療費無料化の高校生世代までの拡大の3つの施策について、予算規模と実施時期を伺いたい。
答 高校生までを対象としたインフルエンザ予防接種補助については、まだ補助額を確定していませんが、例えば、接種1回当たり1000円の補助とした場合、通年で3200万円余の予算になると



見込めます。実施時期は、10月から実施できればと考えています。第三子以降の保育料・幼稚園授業料の無料化については、現在3歳未満児の保育料で既に実施していますので、増加する額は、通年で1億2000万円余の予算となり、7月からの実施を考えています。
 子ども医療費無料化の高校生世代までの拡大は、通年で1億円余の予算となり、来年1月からの実施を考えています。

なお、これらの施策は、条例改正、補正予算や関係機関との調整が必要なこともあり、概算金額と時期は、いずれも現時点での想定です。

■国旗・国歌の指導について

問 国歌や国旗の成り立ちや歴史を正しく知り、議論することが大切だと思うが、教育長の考えを伺いたい。
答 他国の人や文化を尊重する上でも、自国の国歌や国旗を大切にできる子どもたちに育ってほしいと願っています。
 新学習指導要領においても、そうした考えのもとに、6年生の社会科では「我が国の国旗と国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重する態度

を育てる」という考えを伺っています。

を育てるよう配慮すること」、また音楽では「国歌『君が代』は、いずれの学年においても歌えるように指導すること」と明示されています。
 本市でも、卒業式などにおいて、国旗の掲揚や国歌の斉唱はごく自然にされていて、教員や子どもたちも、ごく自然に受け入れている状況にあると思います。

■園医・学校医について

問 幼稚園・保育園や学校で健康診断などを行っている園医・学校医は、非常勤特別職の公務員にあたるが、高齢化や勤続年数の長期化が進み、また、複数兼務されている医師もいる。現状と今後の対応を伺いたい。
答 最も長く園医・学校医を勤めている医師は、内科医で45年、眼科医で12年、耳鼻咽喉科医で29年、歯科医で46年です。最年長の医師は、内科医で84歳、眼科医で53歳、耳鼻咽喉科医で61歳、歯科医で84歳です。園医と学校医を兼務している医師は、内科医で19人、眼科医で6人、耳鼻咽喉科医で5人、歯科医で7人となっています。
 園医・学校医の交代などについては、医師会、歯科医師会の意見を伺い、今後も幼児、児童・生徒の健康管理を十分にしていきたいと考えています。

市民生活



■都市交通施策について

問 市内には、公共交通を利用しにくい地域がある。特に、高齢者や障害を持った市民の足として、あんくるバスと平行して地域の交通手段の取り組みを進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。
答 あんくるバスは、平成22年度の利用者が約35万人を超える見込みで、市内の公共交通として存在感が高まっていると考えています。一方で、依然として市内には、公共交通を利用しにくい地区が存在していることは承知しています。現在のあんくるバスで対応するには、運行時間とルートなどに制約があり、拡充するには限度があるため、新たな公共交通体系を研究する必要があると考えています。

近隣の岡崎市と豊田市では、バスを社会資本と位置付け、市内の拠点を結ぶ基幹バスのほか、地域住民が主体的に運営に取り組む



最近、複数の民間保育園から施設の新設や増設についての考えを伺っていて、これらの施設の整備が図られることにより、大規模保育園の解消に役立つことを期待しています。

これらの先進事例を参考に、安城市総合交通会議の意見も伺いながら、本市に最も適した交通体系のあり方を検討していきます。

■安城市(アンソン市)との交流について

問 韓国に安城市という本市と同名の市があり、都市提携の申し出があったと聞いている。市制施行60周年記念事業の中で交流イベントなどをする考えはないか伺いたい。
答 アンソン市からの都市提携の

申し出に対しては、今すぐ新たな海外都市との姉妹都市提携は考えていない旨の返信をしました。今後は、機会あるごとに情報交換をし、相互理解を図っていきたくと考えています。また、農作物などで共通の話題もありますので、市民レベルからの交流から深まっていけばと考えています。

市制施行60周年記念事業では、市民や団体からのさまざまな自主イベントを公募していきたいと考えていて、アンソン市を含め、地域活性化につながる交流人口を増やす提案を、市民や団体からしていただくのも一つであろうかと考えています。

■LED防犯灯の設置について
問 LED(発光ダイオード)防犯灯は、長寿命で省エネルギーに優れ、維持管理コストも削減できる。設置を促進していくべきと考えますが、町内会への補助金の見直しなどの考えを伺いたい。

答 防犯灯については、各町内会から要望をいただき、防犯灯設置補助金要綱に基づき、蛍光ランプ防犯灯に対応した設置・管理の補助をしています。

LED防犯灯は、二酸化炭素排出量が低減するなど環境負荷低減につながる効果もあることから、いくつかの町内会でも設置されるようになってきました。蛍光ランプ防犯灯よりも設置費用は高くなりますが、電気料などの維持管理費は下がることとなります。

防犯灯の補助金については、設置補助額を引き上げるとともに、



維持管理費を引き下げる方向で見直し、4月から対応できるように考えています。

福祉



■ひとり暮らし高齢者への対応について

問 ひとり暮らし高齢者が年々増加している。ひとり暮らし高齢者へ対応する体制や、今後の新たな取り組み、施策について伺いたい。

答 市では、ひとり暮らし高齢者の孤立化防止や安否確認を図るため、老人クラブによる友愛訪問を始め、民生委員などによる電話訪問のほか、給食サービスや乳酸菌飲料の宅配など公的なサービスを実施してきました。

こうした対策の中で、電話に出られないなど安否に心配のある場合は、地区社協や在宅介護支援センターなどにも協力を仰ぎ、自宅へ出向くなどして安否確認をしています。

本市では既に、地域福祉の推進として、行政による公的サービスだけでなく、地域における自助・共助の推進もお願いしています。

新年度からは、地域と公的サービスを有機的に結びつける試みである地域ケア体制を整備するため、

要援護高齢者地域見守り活動のモデル事業を立ち上げ、5か年計画で市域全体に普及させていきたいと考えています。

行財政



■賃借物件の違反状況の是正について

問 市が駐車場など有償で借用している土地で、登記地目が農地のままとなっているおおむね120筆について、これまでの対応と是正件数を伺いたい。

答 是正に向けた対応については、各部課長に通知し、土地の借用をしている地権者に、用途に応じた地目変更登記の必要性を説明し、理解をいただくよう指示しています。

是正の件数については、現在のところ把握できていませんが、平成23年度以降の契約更新の機会などで、土地の所有者に依頼をしていきます。

■対立候補者のマニフェストについて

問 市長選挙を終えて、相手候補がマニフェストに掲げた政策を改めて見て、どのように評価しているか伺いたい。

答 市長選挙を終えて、相手候補がマニフェストに掲げた政策を改めて見て、どのように評価しているか伺いたい。

■建設常任委員会

●2月25日 部会を開き、入札参加登録業者の破たん、柿田南進道路鉄道交差事業について説明を聞き、質疑をしました。

●3月10日 第1回定例会で審査を託された平成23年度一般会計予算など12議案を審査し、いずれも原案どおり可決しました。

引き続き、部会を開き、中心市街地拠点整備事業の進捗よく状況について説明を聞き、質疑をしました。

■議会運営委員会

●1月26日 平成23年度の議会日程などについて協議しました。

●2月23日、3月16日 第1回定例会の議会運営などについて協議しました。

■議会改革検討委員会

●2月23日 議長から諮問された決算審議の見直し、議員活動の円滑化に向けた議会フロアー利用の見直しについて答申しました。

■広域行政・行政改革特別委員会

●1月14日 第5次行政改革大綱

全員協議会・委員会の主な活動状況

いった現行の法律との整合性の観点からも、十分な検討が必要であると考えています。

当面は、国や県、あるいは近隣自治体の動向などに十分注意を払い、情報を得て検討していきたいと考えています。

昨年12月定例会閉会以降、3月定例会閉会までの活動状況は次のとおりです。

■全員協議会

●2月25日 社会福祉協議会と都市農業振興協会(デンパーク)の平成23年度事業計画・収支予算について説明を聞き、質疑をしました。

■総務企画常任委員会

●3月15日 第1回定例会で審査を託された平成23年度一般会計予算など13議案を審査し、いずれも原案どおり可決しました。

引き続き、部会を開き、市税条例の改正、第3次衣浦東部広域行

答 まずは、地域の経済対策に向けた産業育成と、安定した雇用の創出に関しては、私のマニフェストの最重要項目と重なるものであり、その方向性に関しては評価をしています。

真の環境首都を目指す取り組みに関しても、太陽光発電設備の普及促進やバイオマスの有効利用など、基本的な進め方について、私の考えと重なる部分もありますので、その点も共感できるものだと思います。

子育て支援に関する取り組みや、市民の安全と安心を守る総合的な防災・防犯対策など、包括的に行政課題を網羅するという視点で見ると、全体として良くまとめられているという印象を持っています。

ただし、財源的な裏付けまでを考えた場合、その実現性については、少々疑問に思う部分もあったというのが率直な感想です。

■公契約条例について

問 競争がもたらす労働者の低賃金や長時間労働などを是正するためにも、公契約条例を制定することが必要と考えるが、見解を伺いたい。

答 公契約条例の制定にあたっては、第一義的には国による法律整備が必要であると考えています。また、労働基準法や最低賃金法と

について勉強会を開催しました。

●3月9日 第3次衣浦東部広域行政圏計画の改訂、第5次行政改革大綱の策定について説明を聞き、質疑をしました。

4月 臨時市議会から

4月12日、平成23年第1回臨時議会を開き、平成23年度補正予算に関する専決処分承認案1件を原案どおり承認したほか、国民健康保険条例の一部改正議案1件を原案どおり可決し、同意案2件に同意しました。

この専決処分は、東日本大震災への対応が必要となった補正予算に関するものです。

固定資産評価審査委員会委員の選任

4月11日で辞職した鈴木章氏の後任に、山口修氏(安城町・61歳)を選任することに同意しました。